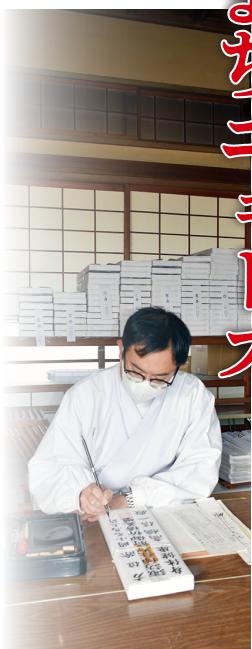


## —昌平中—

フリースクール開所  
県内初 不登校生の居場所に

は二二年度に四百七十三人。どちらも過去最多を記録し、潜在的な人数はさらに多いと考えられている。

他方、不登校生徒の進学先として、通信制高校が急拡大。国内の生徒数は三十万人を超えて、過去五年で一・五倍に。こうした状況下、中学からの不登校対応は急務とされ、同校では十月一日に事業を開始した。

S S B は学校復帰などへ踏み出す「学びの居場所」で、「Bridge to the Future (未来への架け橋)」がコンセプト。科学的な青少年支援アプローチ、段階的



東日本国際大学附属昌平中学校は、同大内に不登校の中学生を受け入れるフリースクール「サポートステーションブリッジ (S S B)」を開所した。私立中学が同様の事業を行うのは画期的といい、県内で初めて。□

文科省などによると、国内小中学校の不登校児童生徒数は、二〇二三（令和五）年度に約三十四万六千人。いわき市内で

フリースクールの“教室”を視察する関係者ら

な適応支援、個別に最適化された学習、専門カウンセラーが寄り添う心理的な安全基盤、専門的サポート体制の五つを柱に掲げている。

このうち科学的アプローチとして導入したのは、同大附属昌平高校通信課程で取り入れている「ポジティブ青年発達 (PYD)」。得られた知見を生かして学習・社会的スキルや自己肯定感の醸成を図っていく。

具体的には、学校に行けない生徒を「転校生」として受け入

れ、指導を行っていく。今年度定員は二十人ほどで、現在七人が登校。「教室」は同大にあり、本校とは異なる環境で学んでいる。昌平黽が運営する同高、いわき短大、同大へ進むこともできる。昌平黽が概要を説明。昌平黽の緑川浩司理事長は「不登校生徒の支援を通じ、社会に貢献したい」と話していた。

八五（一五〇〇五）まで。問い合わせは、同校（電話

## “磐城ららみです”

## 小名浜 ミュウに新キャラ



小名浜、道の駅いわき・ら・ら・ミュウ一階の「オートバイ神社」脇に、『専任巫女（みこ）』をイメージしたオリジナルキャラクターの看板がお目見えした。

キャラクターの名前は「磐城ららみ」。海を思わせる青い袴（はかま）姿で、濃紺の長い髪と水色の瞳が印象的。右手には釣りざおを持ち、施設の“らしさ”を表現。

制作したのは、バイク関連情報の人気配信者『独ヲタ女子』アツキーさん。十月に館内で開かれた、アツキーさんと同館とのコラボ企画でお披露目された。

同所は大勢のライダーが訪れるなど、ツーリング拠点としても人気。一昨年に同神社を設置

オートバイ神社脇にお目見えしたキャラクターの看板

平字白銀町、グランパークホテルパネックスいわきは、毎年恒例のおせち料理＝チラシ＝の予約を受け付け中。

彩り華やかな二段重「松翠（しようすい）」は三～四人前。値段は二万八千円（税込み）。自宅までの配達（一部地域は配達不可）か、来館して受け取ることも可能。予約受け付けは、十二月十二日まで。

また、特別営業「新春ランチ」も実施。期間は二〇二六年一月一～四日。刺し身御膳や天ぷら御膳など、メニューが豊富で要予約になつていて。

詳しくは、同ホテル（電話

彩り華やか新春おせち  
グランパークホテル

し、日本二輪車文化協会が展開する「全国オートバイ神社」の認定を受けている。

の駅」としてグランドオープン。一階の「銘品プラザ」を拡張したほか、外部トイレや駐車場の二十四時間利用が可能となつた。